

2019年8月5日

あおぞら投信株式会社

「投機心 夢を買うなら 花と散り

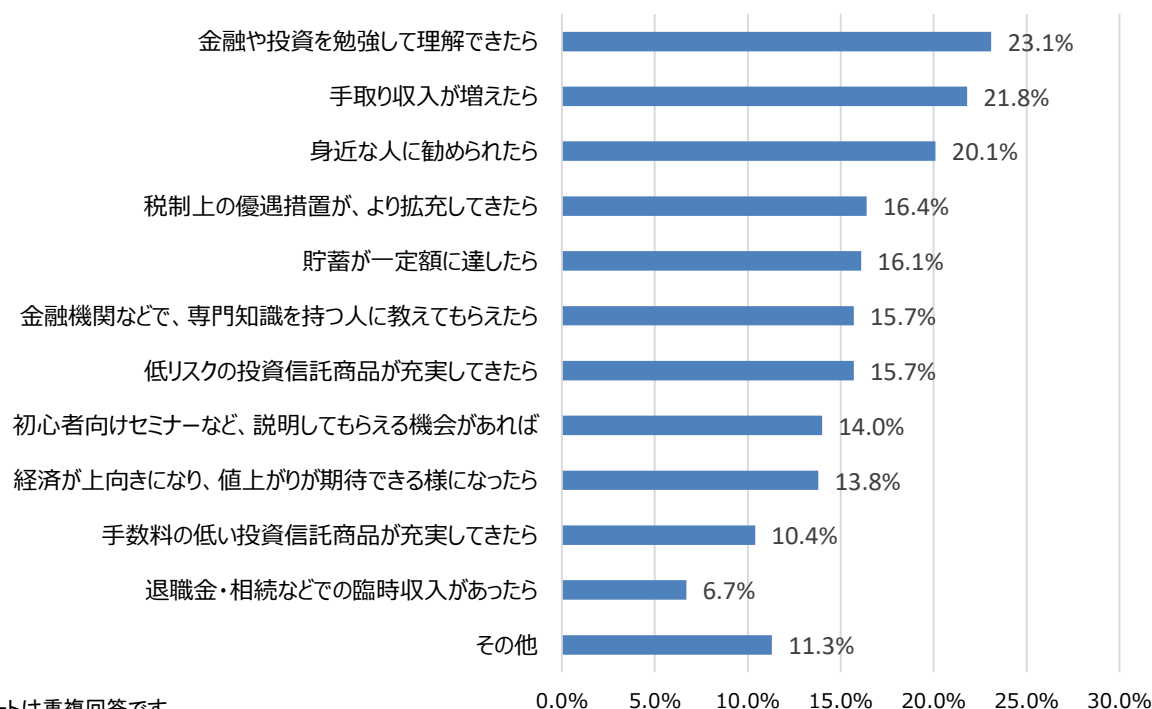
自分の時間は 塵も積もるや」

“投資”という言葉から何を想像しますか。日本語の資本投下という意味からすると“投じる”、あるいは“投げる”こととなります。自分とお金に距離があるのが日本での“これまでの投資”に感じられることが特徴かもしれません。一方、英語のInvestment(投資)の語源をたどると、investire(ラテン語:若い人に出世のための服を着せる)という、お金を何のために役に立てるのかに繋がります。もうひとつには、In Vest(服を着る)の意もあり、こちらは身を守るということから、『大切な資産を守る』に繋がります。“これからの投資”はこちらの原点に還ることではないでしょうか。

また“投資”という言葉は不労所得のカテゴリーに入れられています。真面目に働くことに相反する行動、まるで不道徳のように聞こえることも“これまでの投資”の位置づけだからかと思われれます。ただ一方では、不労所得でお金を増やすということは魅力的でもあります。働かずにお金を得られればそれほど楽でいいことはない、という人間の欲そのものだからです。この不労所得には幅があり、株、為替取引から、不動産投資、そして宝くじまであります。さらに人間の欲に乗った危ない話は、歴史上何度も登場してきたバブルもこの流れの結果です。令和の時代に入り、変わらない投機的な行動もあり続けるでしょうが、人生のスキルとしての“これからの投資”は、不労所得のカテゴリーとしての位置づけではなく、『所得からのさらなる成長機会』としての位置づけに向かうのだと思います。自分とお金の距離が近づいて良いということなのです。まず始めるべきは自分の大切な将来のお金と向かうことだと考えます。

柳谷俊郎

2018年度投資信託に関するアンケート調査 投資信託購入検討のきっかけ（金融資産保有未経験層）



※アンケートは重複回答です。

出所：一般社団法人投資信託協会のデータ及び各種報道を基にあおぞら投信が作成。

本資料は情報の提供を目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、本資料作成日現在の当社の見解であり、事前の予告なしに変更される事もあります。投資信託の取得に当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

商号：あおぞら投信株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第2771号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 ホームページ・アドレス：<http://www.aozora-im.co.jp/>